

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公表番号】特表2006-502738(P2006-502738A)

【公表日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-004

【出願番号】特願2004-551403(P2004-551403)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 01 K	67/027	(2006.01)
A 61 K	31/7088	(2006.01)
A 61 K	31/7105	(2006.01)
A 61 K	31/711	(2006.01)
A 61 K	31/713	(2006.01)
A 61 K	35/12	(2006.01)
A 61 K	35/74	(2006.01)
A 61 K	35/76	(2006.01)
A 61 K	39/395	(2006.01)
A 61 K	45/00	(2006.01)
A 61 K	48/00	(2006.01)
A 61 P	1/02	(2006.01)
A 61 P	1/04	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)
A 61 P	9/08	(2006.01)
A 61 P	9/10	(2006.01)
A 61 P	13/08	(2006.01)
A 61 P	13/10	(2006.01)
A 61 P	15/08	(2006.01)
A 61 P	15/16	(2006.01)
A 61 P	15/18	(2006.01)
A 61 P	17/06	(2006.01)
A 61 P	19/02	(2006.01)
A 61 P	21/00	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	35/02	(2006.01)
A 61 P	35/04	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 07 K	16/40	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 N	9/88	(2006.01)
C 12 Q	1/02	(2006.01)
C 12 Q	1/527	(2006.01)
G 01 N	33/15	(2006.01)
G 01 N	33/50	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
C 12 P	21/08	(2006.01)

## 【 F I 】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 0 1 K	67/027	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 K	35/74	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/08	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	13/10	
A 6 1 P	15/08	
A 6 1 P	15/16	
A 6 1 P	15/16	1 7 1
A 6 1 P	15/18	
A 6 1 P	15/18	1 7 1
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 K	16/40	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	9/88	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/527	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
C 1 2 N	5/00	B
C 1 2 N	5/00	A
A 6 1 K	37/02	
C 1 2 P	21/08	

## 【手続補正書】

【提出日】平成18年5月2日(2006.5.2)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

単離されたポリヌクレオチド配列であって、

(a) 配列番号1、配列番号3、配列番号5、配列番号7、配列番号9、および配列番号11から選ばれる核酸配列を含むポリヌクレオチド配列、

(b) 配列番号2、配列番号4、配列番号6、配列番号8、配列番号10または配列番号12から選ばれるタンパク質をコードするポリヌクレオチド配列、

(c) 配列番号2、配列番号4、配列番号6、配列番号8、配列番号10または配列番号12との一致度が少なくとも60%であるアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列、

(d) 0.02M～約0.15MのNaClで約50～約70の温度のハイブリダイゼーション条件下、(b)のポリヌクレオチド配列とハイブリダイズするポリヌクレオチド配列、又は

(e) (a)、(b)、(c)または(d)に相補的なポリヌクレオチド配列。

【請求項2】

プロモーター配列に作動的に連結された請求項1のポリヌクレオチド配列を含む発現力セット。

【請求項3】

請求項2の発現力セットを含むベクター。

【請求項4】

配列番号2、配列番号4、配列番号6、配列番号8、配列番号10または配列番号12のアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチド。

【請求項5】

請求項1のポリヌクレオチド配列によりコードされる単離されたポリペプチド。

【請求項6】

該ポリペプチドがOASL活性を有する、請求項4または5の単離されたポリペプチド。

【請求項7】

請求項4または5のポリペプチドに免疫学的に特異的に結合するモノクローナル抗体またはポリクローナル抗血清抗体。

【請求項8】

請求項7のモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマ細胞。

【請求項9】

請求項1のポリヌクレオチド配列または請求項7の抗体、および医薬的に許容されるキャリヤーを含む医薬組成物。

【請求項10】

請求項2の発現力セットまたは請求項3のベクターを含む宿主細胞。

【請求項11】

該細胞が真核細胞または原核細胞である、請求項10の宿主細胞。

【請求項12】

請求項1のポリヌクレオチド配列を含む非ヒトransジェニック動物。

【請求項13】

該動物がげっ歯動物、マウスまたはラットである、請求項12の非ヒトtransジェニック動物。

【請求項14】

請求項1のポリヌクレオチド配列またはその機能的等価物の相補物を含むアンチセンス分子。

【請求項15】

ポリペプチドを生産するための方法であって、

該ポリペプチドの発現に適した条件下で請求項10に記載の宿主細胞を培養する工程、および

該宿主細胞培養物から該ポリペプチドを回収する工程を含む方法。

【請求項16】

OASLの活性を調節する化合物を同定または識別する方法であって、単離されたOASLポリペプチドまたはその機能的等価物を得る工程、該OASLポリペプチドまたはその機能的等価物を候補化合物と混合する工程、およびOASLの活性に対する該候補化合物の効果を測定する工程を含む、方法。

【請求項17】

該効果はmRNA分解の減少またはmRNA分解の増加である、請求項16の方法。

【請求項18】

OASLの活性を調節する化合物についてスクリーニングする方法であって、(a)OASLまたはそのOASL結合断片を候補化合物に暴露すること、(b)OASLまたはそのOASL結合断片に該化合物が結合するかどうかを決定すること、および(c)OASL活性またはOASLとその結合パートナーとの相互作用を該化合物が調節するかどうかをさらに決定することを含む、方法。

【請求項19】

OASLタンパク質と結合する相互作用タンパク質についてスクリーニングする方法であって、

(a)OASLタンパク質またはそのOASL断片を候補化合物に暴露すること、および(b)該化合物がOASLタンパク質に結合するかどうかを決定すること(ここで、該候補化合物のOASLタンパク質への結合は、相互作用タンパク質であることを意味する)を含む、方法。

【請求項20】

OASL活性をもたらす化合物を同定または識別する方法であって、

(a)OASLタンパク質をコードする一つ以上の調節可能な遺伝子、OASLタンパク質をコードする一つ以上の遺伝子のノックアウト、またはOASLタンパク質をコードする一つ以上の遺伝子のノックインを有するトランスジェニック動物を用意する工程、

(b)工程(a)のトランスジェニック動物に対する対照動物を用意する工程、(c)該トランスジェニック動物の群および対照動物の群をOASL調節候補化合物に暴露する工程、および

(d)該トランスジェニック動物および該対照動物を比較し、該トランスジェニック動物における不妊または妊性に関係する一つ以上のOASLタンパク質への該化合物の効果を、該対照動物と比較して決定する工程を含む、方法。

【請求項21】

ペプチド結合対の第一のペプチドおよび第二のペプチドの結合相互作用を検出する方法であって、

(i)選択された表現型を検出するのに適した条件下で少なくとも一種の真核細胞を培養する工程(ここで、該細胞は、(a)転写活性化タンパク質のDNA結合ドメインに接合される該第一のペプチドまたはそのセグメントを含む第一の異種融合タンパク質をコードするポリヌクレオチド配列、(b)転写活性化タンパク質の転写活性化ドメインに接合される該第二のペプチドまたはそのセグメントを含む第二の異種融合タンパク質をコードするヌクレオチド配列(ここで、該第一のペプチドまたはそのセグメントと該第二のペプチドまたはそのセグメントとの結合によって転写活性化タンパク質が再構成される)、および(c)該再構成される転写活性化タンパク質の正の転写制御下で活性化されるレポーター要素(こ

こで、該レポーター要素の発現は、選択された表現型をもたらす)を含む)、および

(ii)該選択された表現型をもたらす該レポーター要素の発現のレベルを測定することにより、該ペプチド結合対の結合相互作用を検出する工程を含み、

ここで、該第一または第二のペプチドはOASLペプチドであり、その他方のペプチドは試験ペプチド、好ましくは、卵巣に存在する選択されたペプチド／タンパク質である、方法。

#### 【請求項 2 2】

ペプチド結合対の第一のペプチドおよび第二のペプチドの結合相互作用を検出するためのレスキュースクリーニングであって、

(i)選択された表現型を検出するためまたはそのような表現型の不在を検出するための条件下で少なくとも一種の真核細胞を培養すること(ここで、該細胞は、(a)転写活性化タンパク質のDNA結合ドメインに接合される該第一のペプチドまたはそのセグメントを含む第一の異種融合タンパク質をコードするヌクレオチド配列、(b)転写活性化タンパク質の転写活性化ドメインに接合される該第二のペプチドまたはそのセグメントを含む第二の異種融合タンパク質をコードするヌクレオチド配列(ここで、該第一のペプチドまたはそのセグメントと該第二のペプチドまたはそのセグメントとの結合によって転写活性化タンパク質が再構成される)、および(c)該再構成される転写活性化タンパク質の正の転写制御下で活性化されるレポーター要素(ここで、該レポーター要素の発現は、選択された表現型の発現を妨げる)を含む)、および

(ii)該選択された表現型の発現を妨げる該レポーター要素の発現に、試験ペプチドが影響するかどうかを決定することにより、該試験ペプチドのOASLと相互作用する能力を検出する工程を含み、

ここで、該第一または第二のペプチドはOASLペプチドであり、その他方のペプチドは試験ペプチド、好ましくは、卵巣に存在する選択されたペプチド／タンパク質である、方法。

#### 【請求項 2 3】

OASLに対する結合パートナーを同定または識別する方法であって、

(a)該タンパク質を結合パートナー候補に暴露する工程、および

(b)該結合パートナー候補がOASLに結合するかどうかを決定する工程を含む方法。

#### 【請求項 2 4】

OASL活性のモジュレーターについてスクリーニングする方法であって、

(a)OASLポリペプチドを発現させる細胞を用意する工程、

(b)該細胞を候補モジュレーターと接触させる工程、

(c)OASLの発現を測定する工程、および

(d)該候補モジュレーターの存在下における該OASLの発現を、該候補モジュレーターの不在下におけるOASL発現の発現と比較する工程を含み、

ここで、該候補モジュレーターの不在下におけるOASLの発現に対して該候補モジュレーターの存在下におけるOASLの発現が異なれば、該候補モジュレーターがOASL発現のモジュレーターであることが確認される、方法。

#### 【請求項 2 5】

OASL活性のモジュレーターを生産する方法であって、

(a)OASLポリペプチドを発現させる細胞を用意する工程、

(b)該細胞を候補モジュレーターと接触させる工程、

(c)OASLの発現を測定する工程、

(d)該候補モジュレーターの存在下における該OASLの発現を、該候補モジュレーターの不在下におけるOASL発現の発現と比較する工程(ここで、該候補モジュレーターの不在下におけるOASLの発現に対して該候補モジュレーターの存在下におけるOASLの発現が異なれば、該候補モジュレーターがOASL発現のモジュレーターであることが確認される)、および

(e)該モジュレーターを生産する工程  
を含む、方法。

**【請求項 26】**

該OASLがOASL6、OASL7、OASL8、OASL9、OASL10およびOASL11からなる群より選ばれる、  
請求項 16、17、18、24および25いずれか一つの方法。